HITACHI
Inspire the Next

日立加湿器《スチームファン式》

取扱説明書（保証書付）

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています

SVF-53形 / SVF-73形 家庭用

このたびは日立加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは大切に保存してください。

もくじ

ページ

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

改造は絶対にしない
サービスマン以外の人は、分解したり修理しない
（火災・感電・けがの原因）
修理はお買い上げの販売店または日立家電品のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水したりしない
（本体内部に水が侵入し、感電・ショート・発火の原因）

吸込口や吹出口などのすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない

（感電や異常動作してけがの原因）

定格15A以上のコンセントを単独で使う

（他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因）

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグも抜く
また、濡れた手で抜き差ししない
（感電やけがの原因）

電源コードを傷つけたり、破損したり、引っ張ったり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない
（電源コードが破損し、火災・感電の原因）

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
（感電・ショート・発火の原因）

差込プラグやマグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる
（感電・ショート・発火の原因）

交流100V以外では使用しない
直流や200V
（火災・感電の原因）

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプ、クエン酸などの洗浄剤は使用しない

（洗浄剤が残り、有毒ガスが発生して、健康を害する恐れ
蒸発皿のめっきがはがれて故障の原因）

幼児にマグネットプラグをなめさせない
（感電やけが・やけどの原因）

本体内の水を排水するときは、ガイドを外し、本体に刻印されている「排水方向」に排水する

（本体内部に水が回り込んで、感電、ショート、発火の原因）

蒸気吹出口にさわったり顔などを近づけない

（やけどの原因）
特にお子様やお年寄りには注意してあげてください。
吹出蒸気温度 約70℃（SVF-73）
約65℃（SVF-53）

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

マグネットプラグ（磁石式）の先端にピン等、金属片やごみを付着させない
（感電・ショート・発火の原因）

差込プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込む
（感電、発熱して発火の原因）

倒さない
幼児の近くや、不安定な置き場所で使用しない

（転倒すると熱湯がこぼれて、やけど、ショート、感電、発火の原因）
倒したときは差込プラグを抜いてください。

使用中や停止直後は移動やお手入れをしない

（熱湯がこぼれたり、高温部に触れたりしてやけどの原因）

⚠注意

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く

（感電やショートして発火の原因）

吹出口をふさがない

（変形や故障の原因）

凍結させない
（感電や故障の原因）
凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽内の水を捨ててください。

熱に弱い敷物上で使用しない
（変色、変形の原因）

木台、フローリング等（木質系）の上（同一箇所）で長期間、連続運転をしない
（乾燥によるひび割れ、変色等の原因）

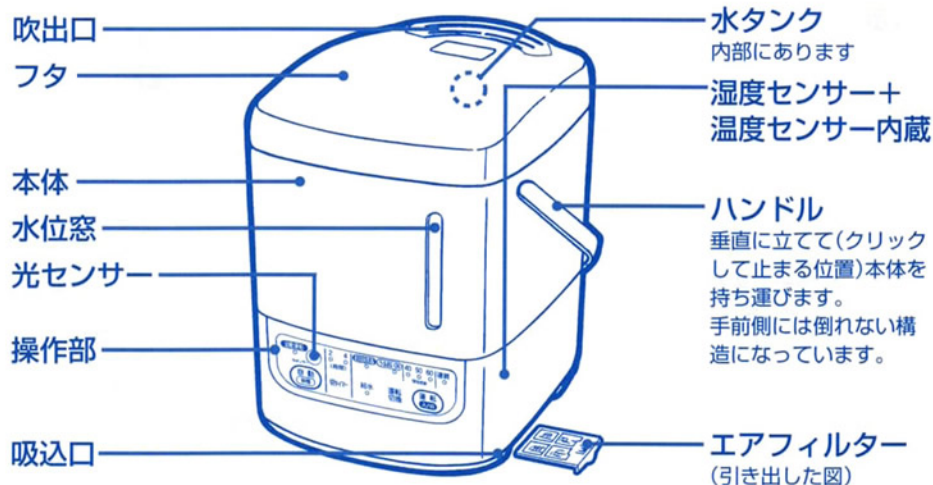
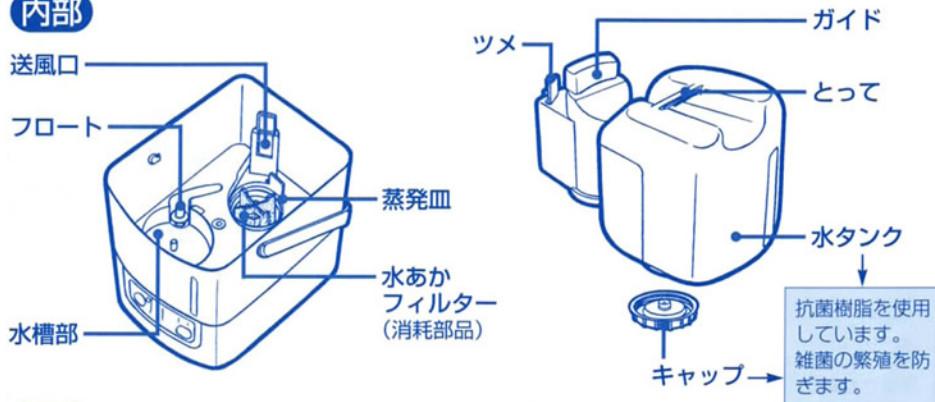
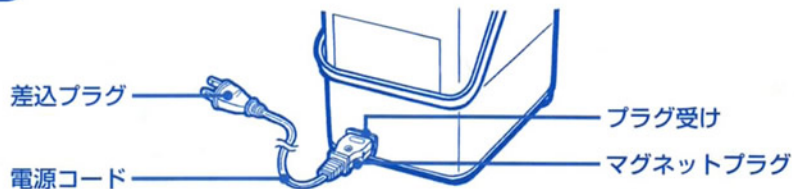
暖房を止めたときは、加湿器も止める

（壁や床などに結露する原因）
おやすみのときなど、特に注意してください。

水漏れしたときは使用しない
（感電の原因）
水漏れしているときは、差込プラグを抜き、必ず修理を依頼してください。

使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く

（けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因）

各部のなまえ（SVF-53で説明します）

エアフィルターは緑茶カテキンで染色しています。
緑茶カテキンとは体にやさしいお茶の葉から抽出した天然成分です。
緑茶カテキンは細菌の発生・生育・増殖を抑制し、エアフィルターで捕えた菌に抗菌作用を発揮します。

操作部

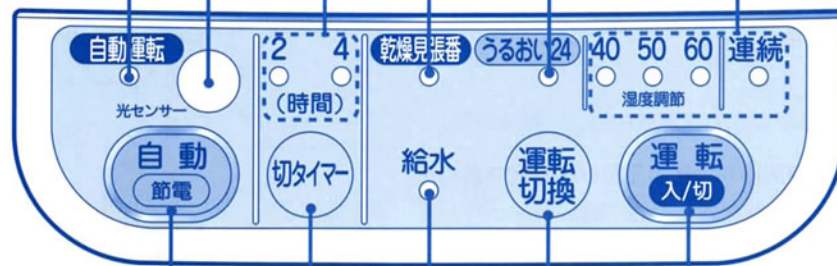
光センサー受光部
「自動運転」のとき光センサーが働き、周囲の明るさを検知します。
保安球（約5W）程度の照明で、暗いと判断するように調整しています。

乾燥見張番ランプ
運転切換キーで設定したときや、自動運転中、節電になると点灯します。
ファンがときどき回って、お部屋の湿度を見張ります。約35%未満のときは間欠運転を始めます。またランプが点滅してお知らせします。

うるおい加湿ランプ
運転切換キーで設定すると点灯します。
加湿量をおさえた間欠運転を行ないます。加湿量をおさえたいとき、長時間加湿したいときに使います。

自動運転ランプ
自動（節電）キーを押すと点灯します。

切タイマーランプ
切タイマーキーで設定した運転時間を表示します。

運転ランプ
「40」「50」「60」「連続」
運転切換キーで設定した湿度または連続を表示します。
湿度調節運転では現在の湿度の目安を点滅で表示します。設定湿度と重なったときは点灯になります。

自動（節電）キー
- 部屋が明るいときは、現在室温と湿度を検知して、快適な湿度となるように「自動運転」を行います。
- お部屋が暗くなると光センサーが働き自動的に節電を行います。

（9ページ参照）

給水ランプ
水タンクの水がなくなると点灯し、運転停止します。

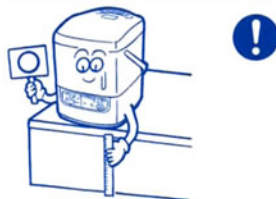
切タイマーキー
加湿を自動的に止めたいときに使います。
（9ページ参照）

運転入/切キー
押すと運転ランプ「50」が点灯し、運転を始めます。
（7ページ参照）

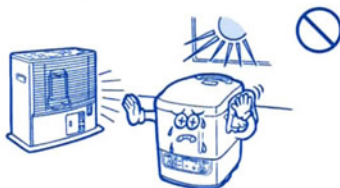
運転切換キー
お好みの「湿度」か「連続」、「乾燥見張番」、「うるおい加湿」を選びます。（8ページ参照）

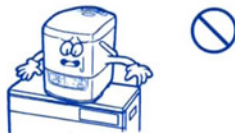
置き場所について

正しい置き場所

●床面から約0.5～1mの棚やテーブルの上などの水平で振動のないところに置いてお使いください。
また、吹出口から天井までの距離を1m以上とってください。
満水時には重くなりますので、しっかりしたテーブルの上に置いてください。

⚠注意

次の場所には置かない

●暖房器具などの近くで、高温になるところ。
輻射熱や温風を直接受けるところ。
直射日光のあたるところ。
油のつきやすいところ。
（プラスチック部品が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ）

●加湿器の蒸気が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたったり、周りに障害物があるところ。
（家具などにしみや変形ができたり、故障の原因）

●温風暖房器や電化製品及び不安定な台の上。
（暖房器の熱で変形したり、故障の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ
転倒すると感電、ショートの原因）

●吸込口をふさぐおそれのあるところ。
吸込口が底面にありますので、じゅうたんやカーペット、テーブルクロスなど、やわらかい敷物の上に直接置かないでください。
（プラスチック部品や敷物が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ）

●テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く。
（テレビ・ラジオ・コードレス電話などに雑音が入る原因）50cm以上離す

●磁石や強い磁気のものの近く。
（フロートが誤動作して空だきの原因）

正しい使いかた

運転と停止

1 給水する

①フタを外して水タンクを取り出し、キャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。
水タンクが傾かないように手でしっかり押さえ、給水中に水タンクを倒さないように注意してください。

②キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してから本体内に入れ、フタを閉じてください。

2 マグネットプラグを本体のプラグ受けに取り付け、差込プラグを交流100Vのコンセントに差し込む

運転中にマグネットプラグや差込プラグが外れると「ピッ」と音がします。

3 運転入/切キーを押す

「ピッ」と音がして運転ランプの「50」が点灯し、約2～4分ほどで吹出口より蒸気が出始めます。

●湿度調節運転時は、スタート後約15秒たつと現在の湿度の目安をランプの点滅で表示します。
ただし「連続」、「うるおい加湿」、「乾燥見張番」、「自動運転」のときは表示しません。
●お部屋の温度、湿度の状態によっては、蒸気が見えにくいことがあります。
●「自動(節電)キー」、「切タイマーキー」を押して運転を開始することもできます。
●差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、前回使用時に設定した湿度で運転を開始します。（「自動運転」は除く）
差込プラグの抜き差し後の運転では「50」が点灯します。

4 停止するときは運転入/切キーをもう一度押す

運転ランプが消灯し、運転を停止します。
●停止後約30秒間はファンが回っています。
●停止後も5～6分間は蒸気が出ますので、吹出口には手を触れないでください。

⚠注意

●運転中はハンドルを後ろに倒して使用する
（蒸気がハンドルに当たるとハンドルの温度が上がり、やけどの原因）

●水タンクは給水中に倒したり落としたりしない。手でしっかり押さえながら給水する
（落とすと、けが、タンクの変形、破損の原因）

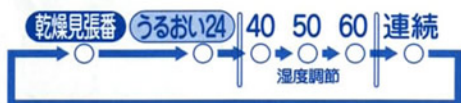
●移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない（お湯等が流れ出し、やけどの原因）

●キャップを外したときパッキンが外れることがあるため、万一外れたときは、図のように溝にはめこむ（水漏れの原因）

●お湯（40℃以上）や化学薬品、芳香剤、汚れた水などを入れない
（プラスチック部品が変形、変質したり故障の原因）

正しい使いかた −つづき−

運転の切り替え

運転中に運転切換キーを押すごとに「ピッ」と音がして、運転モードが図のように切り替わり、お好みの運転を設定できます。「50」に戻ると「ピピッ」と音がします。

湿度調節「40」「50」「60」、「連続」

湿度調節「40」「50」「60」

湿度センサーのはたらきで、設定湿度以上になると自動的に停止し、湿度が下がると再び加湿をおこないます。

「連続」

湿度に関係なく連続で加湿します。ただし、極端に湿度が高いときは、自動的に停止することがあります。

運転中に運転切換キーを押して好みの湿度に設定する。

表示	湿度の目安	
40	約40%（低め）	湿度調節運転
50	約50%（標準）	
60	約60%（高め）	
連続	湿度に関係なく加湿	連続運転

- 「40」「50」「60」を設定したときは、運転スタート後、約15秒たつと、現在の湿度の目安を運転ランプの点滅で表示します。
  現在の湿度と設定湿度が重なるときは、運転ランプは点灯になります。
  現在の湿度が70%以上のときは「60」の点滅で表示します。
  このときは設定湿度の表示と重なっても、点滅を続けます。

- 湿度センサーは、加湿器前面付近の湿度を感知します。

乾燥見張番

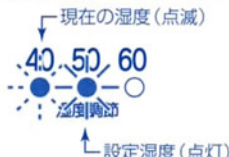
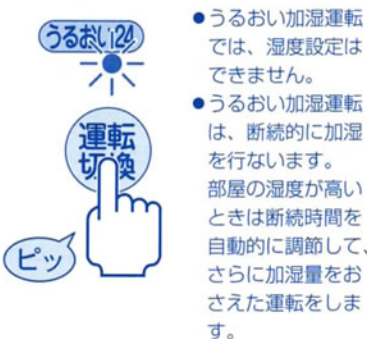
通常は加湿を停止し、ときどきファンが回って湿度を見張ります。約35%未満のときは断続的に加湿を行います。

運転中に運転切換キーを押して設定する。

うるおい加湿

断続的に加湿を行ない、加湿量をおさえて長時間運転します。
軽くうるおう程度の加湿や、小部屋（木造和室で約4畳程度）での加湿が必要なときに使います。

運転中に運転切換キーを押して設定する。

- うるおい加湿運転では、湿度設定はできません。
- うるおい加湿運転は、断続的に加湿を行ないます。部屋の湿度が高いときは断続時間を自動的に調節して、さらに加湿量をおさえた運転をします。

湿度センサーを安定させるため、現在の湿度が設定湿度より高いときでも、運転スタート後、しばらくの間は強制的に加湿します。

切タイマー

セットした時間（2、4時間）後に、自動的に運転を停止します。

切タイマーキーを押して希望の時間にセットする。

切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り替わります。（2→4→解除→2・・・）

セットした時間後に運転を停止し、ランプも全て消灯します。

- 解除したときは「ピピッ」と音がします。
- 水タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水ランプが点灯します。
- 切タイマーランプは、運転が停止して消灯するまで、時間の経過に関係なく、セットした時間が点灯を続けます。
- 運転停止後、差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、再セット時には前回の設定時間が最初にセットされます。

自動（節電）

部屋が明るいときは、室温に応じ、快適な設定湿度を自動的に選び加湿します。（室温が20℃のときは、湿度が約50%となるように加湿します。）
部屋が暗くなったら自動的に断続の加湿を行い、さらに2時間後は、乾燥見張番運転を行って節電します。
自動運転では湿度設定はできません。

自動（節電）キーを押す。

1. 光センサーが明るさを検知し、部屋が明るいときは、温度センサーと湿度センサーの働きで、室温に応じた快適な湿度になるように加湿します。
2. 部屋が暗くなると断続加湿に変わり、加湿量が少なくなります。（保安球（約5W）程度の照明のときは暗いと判断するように光センサーを調整しています。）
3. 暗い状態が約2時間続くと、乾燥見張番ランプが点灯し、乾燥見張番（8ページ参照）と同じ運転に変わります。
   湿度が約35%以上のときは、加湿を停止し、ときどきファンが回って湿度を見張ります。湿度が約35%未満になると乾燥見張番ランプが点滅し、断続的に加湿します。

4. 再び部屋が明るくなると、乾燥見張番ランプが消灯し、断続加湿に変わります。この断続加湿の間に部屋が暗くなったときは**3**の状態に戻ります。
5. 明るい状態が15分以上続くと**1**の状態に戻り、室温に応じた快適な湿度になるように加湿します。

- 光センサー受光部が物陰になっていたり、汚れていたり、光センサー受光部に光が当たらないような場所（本体を照明の真下や照明に背を向けて置いたとき等）では、動作が安定しない場合があります。

正しい使いかた －つづき－

知っておいていただきたいこと

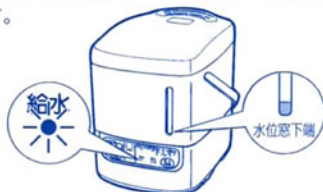
- 湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。
  なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
  湿度設定や現在の湿度表示は目安としてお使いください。
- 設定された湿度に達すると蒸気は出なくなりますが、ファンは回っています。加湿を必要としないときは運転を停止してください。
- 設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定湿度になっても加湿を続けているときがあります。
- 暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが、結露や異常乾燥による悪影響を防止するために次のような点を目安にして、加湿器を運転してください。
  ○湿度が高すぎるとき
  ①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
  ②窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。
  ○湿度が低いとき
  ①くちびるやのどが乾き、ひふがかさかさする。
  ②家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。
- この製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

水がなくなったときは

水タンクの水位が水位窓下端に近づいたら、水タンクに水を補給してください。

- 水タンクの水がなくなると、給水ランプが点灯して自動的に蒸気が止まります。
- 給水ランプ点灯後、約1時間ファンが回転しています。給水ランプ点灯中は、給水した水タンクをセットすれば自動的に蒸気が出てきます。ファンが停止すると給水ランプも消灯し、運転を停止します。

給水

水位窓下端

お願い

- **日常のお手入れ**
  本体水槽部や蒸発皿は本書のお手入れのしかたに従い掃除して、いつも清潔にお使いください。水道水にはカルキなどが含まれており、蒸発すると水あかが蒸発皿やガイド部・水あかフィルターに付着します。お手入れせずに使い続けると固着し、取れなくなります。
- **湿度の高い（70%以上）ところでは使わないでください。**
  湿度が高いときには蒸気が空気中にとけ込まないで、家具や床を湿らしたり、ぬらすことがあります。
- **使用水の注意**
  水タンクの水は毎日新しい常温の水道水と入れかえてお使いください。
- **お子様やお年寄りには注意してください。**
  お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取扱いなどについて注意してあげてください。
- **フタをあけるときに、フタについた水滴がたれることがありますので注意してください。**
- **本体底面は少し熱くなりますが異常ではありません。**
- **ハンドルは手前側には倒さないでください。**
  ハンドルは手前側には倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損することがあります。
- **持ち運びは本体が水平になるようにハンドルの中央を持って、静かに運んでください。**
- **ハンドルを動かすとき、フタとの間に指をはさまないように注意してください。またハンドルは外さないでください。**

お手入れのしかた

⚠注意

- 蒸発皿など内部の清掃に金属ブラシ等を使わない。（さびの原因）
- ベンジン・シンナーなどではふかない。（変色や変形の原因）

- 必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えるのを待ってからお手入れを行う。（やけどの原因）
  ご使用後30分以内はお湯や蒸発皿が高温です。

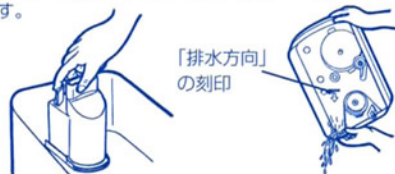
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用する。（変色・キズの原因）
- 清掃後は、必ず水あかフィルター、ガイド、エアフィルターを取付け、水タンク、フタをセットする。（やけど・故障の原因）

◆水タンク内の清掃（週に1～2回以上）

水タンク内に水を約2Lほど入れ、キャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。（これを2～3回繰り返します。）
汚れがひどいときは、やわらかい布で内部の汚れをふきとってください。

◆本体の水の抜きかた

①水タンクを外す。
②ガイド上部の送風口にかかったツメ部を指でつまんで外し、ガイドおよび水あかフィルターを引き上げて外す。

「排水方向」の刻印

図のように、本体に刻印されている排水方向に本体を静かに傾け、排水します。

⚠警告

- 必ずガイドを外してから排水する。（本体内部に水がまわりこんで感電、ショート、発火の原因）
- 急に本体を逆さにしたり、図の方向以外に傾けて排水しない。（本体内部に水がまわりこんで、感電・ショート・発火の原因）
- プラグ受けに水をかけない。（感電の原因）

◆本体・ガイドなどの清掃

本体は水を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ってください。ガイドは水洗いしてください。

◆蒸発皿・水槽・フロートの清掃（週に1～2回以上）

①本体内に残った水を抜いてから水に浸した布でふいてください。
②フロートの周りにごみが入っていたら取り除いてください。ごみが付着すると正常に動作しないことや、本体をいためることがあります。

- 蒸発皿に付着した水あかが落ちにくいときは、歯ブラシや割りばしなどでこすり落としてください。（水あかが乾燥した状態であれば、多少取りやすくなります。）
- **お手入れをせずに使い続けると、水あかがこびりついて取れなくなります。**

◆水あかフィルターの清掃（週に1～2回以上）

長もちをさせるために、こまめに水洗いしてください。

①水タンクを外し、次にガイドと水あかフィルターを抜き取ってください。
②水あかフィルターは洗剤などをつけずに、水道水で手もみ洗いしてください。

- 水あかが多量に付着し、もみ洗いしても汚れが取れないときや、破損したときは、新しい部品をお買い上げの販売店でお求めの上、取付けてください。

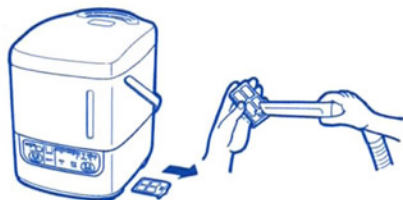
水あかフィルター　部品番号 SVF-51 009

- 清掃後は必ず本体に取付けてください。

お手入れのしかた －つづき－

◆エアフィルターの清掃（週に1～2回以上）

本体底面の右側にあるエアフィルターを抜き取り、掃除機などでほこりを取り除いてください。

- 汚れがひどくなりますと蒸気の出かたが弱くなったり、床面の温度が高くなったり、また正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- 清掃後は必ず本体に取付けてください。

故障かな？と思ったら

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にしてもう一度確認してください。

症　状	点検するところ	処　置　の　し　か　た
蒸気も風も出ない 運転ランプが点灯しない	差込プラグやマグネットプラグが外れていませんか	マグネットプラグをプラグ受けに取り付け、差込プラグをコンセントに差し込む
運転ランプは点灯し、風も出ているが蒸気が出ない	うるおい加湿や乾燥見張番を設定していませんか	正常です（間欠運転なので約2～10分くらい蒸気が出ないことがあります）
	お部屋の湿度が「設定湿度」と同じか高くなっていませんか	正常です（蒸気を止めて湿度調節しています。湿度が下がると蒸気が出ます）
	給水ランプが点灯していませんか	給水をする
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか	フロートやその周りを掃除する
	お部屋の湿度が極端に高くなっていませんか	正常です（湿度が約90%以上のときは連続運転でも蒸気が出ないことがあります。このときファンは回っていますので不要のときは運転を止めてください）
途中で運転が止まる	給水ランプが点灯していませんか	給水をする
湿度調節運転時、室内の湿度が高くなっても止まらない	湿度の設定が高すぎていませんか	適切な湿度に設定し直す
	本体に直射日光や強い光があたっていませんか	設置場所を変える
	温度の高いところに置かれていませんか	熱の影響を受けにくい場所に移す
蒸気がにおう	蒸発皿、水あかフィルターなどが汚れていませんか	本体や水タンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがって掃除する
運転キーを押してもすぐに蒸気が出ない	2～4分で蒸気が出ます	正常です（蒸気が出るまで2～3分かかります）またお部屋の温度、湿度の状態によっては蒸気が見えないことがあります
自動運転のときに明るくなったり暗くなったりしても運転が変わらない	光センサーは保安球程度の照明のとき、暗いと判断するように調整してあります。 ●物陰等の暗い場所、照明が当たらない場所、明るさが頻繁に変化する場所などでは、動作が安定しないことがあります。	加湿器設置場所や向きを変える
	光センサー受光部がふさがれている	ふさいでいるものを取り除く
	光センサー受光部が汚れている	受光部の汚れをふき取る

こんなランプ表示が出たら

- 給水ランプの点滅 ……湿度センサーの故障です
- うるおい加湿ランプの点滅 ……制御回路の故障です

このようなときは、差込プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（14ページ）の窓口に表示内容を連絡しご相談ください。

保　管

お手入れ・清掃をしたあと、水槽・水タンク・蒸発皿・ガイドなどの水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に納めて、湿気の少ないところに保管してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■保証書（この商品は保証書付きです）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げの日から1年です。
- ただし水あかフィルターは消耗品ですから、保証期間内でも有料とさせていただきます。

■修理を依頼されるときは　持込修理

「故障かな？と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間中は
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの加湿器の補修用性能部品を、製造打切後5年間保有しています。

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等整備費・一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（14ページ）の窓口にお問い合わせください。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

仕　様

形　式		SVF-53	SVF-73
定　格		交流 100V-410W（50-60Hz共用）	交流 100V-560W（50-60Hz共用）
最大加湿量〈うるおい加湿時〉		500mL/h（室温20℃、湿度30%、水温20℃）〈約175mL/h〉	700mL/h（室温20℃、湿度30%、水温20℃）〈約240mL/h〉
適用床面積		木造和室：14m²（8.5畳） プレハブ洋室：23m²（14畳）	木造和室：20m²（12畳） プレハブ洋室：32m²（19畳）
タンク容量		約4.2L	約5.8L
寸法	幅	22.8cm	22.8cm
	高さ	29.4cm	33.5cm
	奥行	30.0cm	30.0cm
質量（重量）		約2.7kg（満水時 約7kg）	約3.0kg（満水時 約9kg）
電源コード		約1.4m	約1.4m

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	０１１−８３３−５０８８	札幌市白石区東札幌２条４−１−１０
東北地区	０２２−２３２−５０８８	仙台市宮城野区扇町１−１−４５
関東・甲信越地区	０３−３８３４−８５８８	台東区東上野２−７−５（日立家電上野ビル）
中部地区	０５２−７９５−５０８８	名古屋市守山区新守町５９（日立家電新守山ビル）
関西地区	０７８−４３１−５０８８	神戸市東灘区甲南町１−３−８
中国地区	０８２−２３１−５０８８	広島市西区観音新町１−７−１７
四国地区	０８７７−４７−１０８８	坂出市林田町４２８５−１４３
九州・沖縄地区	０９２−２８１−５０８８	福岡市博多区店屋町７−１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

−03A−

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

●加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後５年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。	●水漏れがする。 ●本体が異常に熱くなる。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常・故障がある。

お願い	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差込プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社 日立ホームテック　日立ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2丁目15番12号　電話 (03)3502-2111

日立加湿器保証書 持込修理

※型名		保証期間	本体：1年
※お買い上げ日	平成　年　月　日		
※お客様	ご住所 ご芳名	〒 様	
※販売店	住　所 店　名	電話　(　　)	

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担になります。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(へ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書に型名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には取扱説明書の14ページの日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書の14ページ家電品の件ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)3502-2111

NH215173-01 2003-07(M)1